



下呂市長 野村 誠

新金山病院の完成により、市内でのより良い医療環境が整うこととなりますが、将来にわたって地域医療の拠点とするために、「下呂市医療ビジョン」を基に医療従事者の確保や包括的な体制の整備、市民協働体制づくりなどに更に取り組んでまいります。

建設にあたり、病院づくりワークショップにご参加いただいた市民の皆さまをはじめ、関係各位の皆様方のご協力と尽力に改めて敬意と感謝を申し上げます。今後一層の医療体制が確保され地域住民が安心して健康な生活を送ることができぬことを祈念いたします。

(竣工式典での市長あいさつより抜粋)



地域医療を多面的に支える中核病院へ 新 下呂市立金山病院 開院

8月1日に、老朽化や耐震性等の観点から移転新築工事を進めていた「下呂市立金山病院」が開院となります。生まれ変わった市立金山病院では、ローコスト・ハイクオリティーを合言葉に本来病院にあるべき機能の充実を図り、「救急外来の充実」「健診と診療の分離」「透析室・療養病床の増床」などに取り組みました。

この紙面では、地域の皆さまの声を反映し誕生した、新病院についてご紹介します。

〈新病院建設事業概要〉

- ◎所在地 下呂市金山町金山 973 番地 6
- ◎構造 鉄筋コンクリート造 5 階建て (地下免震構造)
- ◎敷地面積 16,282.24㎡ (周辺施設含む)
- ◎延床面積 6,954.44㎡ (駐輪場 18.04㎡含む)
- ◎駐車場 外来者用駐車場 117台 (内、身障者用 3台)
- ◎病床数 一般 50床、療養 49床
- ◎診療科目 内科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科 (人工透析)、耳鼻咽喉科、歯科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、麻酔科の 11 診療科
- ◎事業費総額 1,940,651千円

〈基本方針〉

- 患者さまのあらゆる権利を尊重し、プライバシーの保護に努めます。常に医療水準の向上に努め、地域の人々に貢献します。
- 医療・保健・福祉との連携を密にし、地域医療の充実を図ります。効率的で安定した健全経営を維持し、病院環境を整えます。
- 常に自己研さんを行い、優秀な人材の育成に努めます。

〈病院理念〉

- わかりやすい説明と納得のもと、患者さまとの信頼関係を築き、安心と信頼の心が通う医療を提供します。
- 親切、丁寧、高い知識、優れた技術を駆使して良質の医療を提供します。
- 地域医療福祉機関と連携を深め、地域医療のさらなる充実に貢献します。



院長 古田智彦

財政難の折、ローコスト、ハイクオリティーを合言葉に現在の病院に、必要であつてもなかった機能だけを加え、身の丈に合った病院を考え、この新病院となりました。いうまでもなく病院は受診料で成り立っています。地域の皆さんには病院を上手に利用していただくことが病院を支えることになること、職員の皆さんにはいかに受診したい病院にするかを考え行動することが今後この病院の維持発展につながります。病院のことも大きな使命は、地域社会の維持を医療の面で支えることにあります。

新病院では、十分とは言えませんが療養環境は格段に向上すると考えています。新病院の完成を機に皆さんにはさらに一層のご支援を宜しくお願いたします。
(竣工式典での院長あいさつより抜粋)



正面玄関で行われたテープカットの様子

6月24日には、新病院の正面玄関で野村市長や古田院長らがテープカットをして、新築完成をお祝いしました。
引き続き、院内のホールでは須原副院長が指揮する楽団による、クラシック演奏が流れる中、内覧会が行われました。
午後からは一般開放され、約1,600人も地域の皆さまが、新しくなった病院を一目見ようと内覧会に訪れました。

治療と健康管理を柱に専門外来の開設

- **11 診療科のほか、糖尿病・乳腺・禁煙外来・循環器などの専門外来を設置**
経験豊富な専門医による計画的かつ効率的な治療を進めます。



内科、外科など11診療科での診療が可能。
地域の中核病院としての検査体制を充実させています。

左：検査室
右：各科の外来診察室



慢性疾患、長期療養をサポート

- **人工透析ベッド10床、さまざまな機器と療法士を配したリハビリ室を設置**
訪問診療や訪問リハビリにより、在宅療養の方にも継続的な医療を提供します。



これまで5床だった人工透析ベッドが、10床に倍増しました。また、機能回復のためのリハビリでは、療法士が社会生活への復帰をサポートします。

左：透析センター
右：リハビリテーション科

